

- Tanabe S and Yamaguchi T: "Advances in Physical Therapy Research", 1. PPARs and their roles in the molecular network and diseases, eds., Belluci F and Baudo N, Nova Science Publishers, Inc., New York, pp.1-43 (2014)
- 坂本知昭: "医薬品倉庫管理と物流・輸送品質の留意点 - GDP, PIC/S GMP, GMP適合性調査を踏まえて-", (株)情報機構, 東京, pp.125-30 (2013)
- 坂本知昭: "実験者/試験検査員の誤ったデータの取り扱い・試験誤操作防止策", 第11章 産業ごとの研究室, 試験室での留意点, 第1節 医薬品試験検査施設における業務運用の留意点と管理, (株)技術情報協会, 東京, pp.390-5 (2014)
- 小出達夫: "バリデーション全集-基礎~実務まで-", 第1章 日本におけるプロセスバリデーションの定義と考え方, (株)情報機構, 東京, pp.3-7 (2013)
- 小出達夫: "新GMP工場のレイアウト図と設備バリデーション", 第1部 国内外規制動向と日本での対応 第3章 PATによるRTRT採用時の試験規格の取扱い, (株)技術情報協会, 東京, pp.17-20 (2013)
- 多田稔, 石井明子, 川崎ナナ: "新薬開発にむけた臨床試験(第I~III相臨床試験)での適切な投与量設定と有効性/安全性評価", サイエンス&テクノロジー(株), 東京, pp.72-86 (2013)
- 西島正弘, 川崎ナナ: "バイオ医薬品 開発の基礎から次世代医薬品まで", (株)化学同人, 東京, (2013)
- 奥田晴宏, 川崎ナナ: "第7版化学便覧 応用化学編", 日本化学会編, 丸善出版(株), 東京, pp.1079-84 (2014)
- 合田幸広, 袴塚高志 (監修): "新一般用漢方処方の手引き", 日本漢方生薬製剤協会編集, (株)じほう, 東京, pp.1-360 (2013)
- 局外生規2012出版検討会 (合田幸広, 丸山卓郎): "和英対訳 日本薬局方外生薬規格2012", 局外生規2012出版検討会編集, (株)薬事日報社, 東京, pp.1-287 (2013)
- Goda Y, Anjiki N, Kawahara N: "Biochemical Sensors: Mimicking Olfactory and Gustatory Senses", Chapter 12: Herbal Medicines: Pan Stanford Publishing Pte. Ltd., Singapore, pp.205-30 (2013)
- 井上貴雄, 西島正弘 (共同翻訳): "グッドマン・ギルマン薬理書-薬物治療の基礎と臨床-", 第12版, 第48章, 「抗微生物療法の一般的原則」翻訳, 高折修二, 橋本敬太郎, 赤池昭紀, 石井邦雄監訳, (株)廣川書店, 東京, pp.1751-72 (2013)
- 内田恵理子: "バイオ医薬品", 25章 遺伝子治療薬, 西島正弘・川崎ナナ編, (株)化学同人, 京都, pp.235-44 (2013)
- 中島啓行, 安田智, 佐藤陽治: "実験医学別冊 ES・iPS細胞実験スタンダード ヒトES・iPS細胞に由来する再生医療製品の造腫瘍性をどう見るか?", (株)羊土社, 東京, pp.61-9 (2014)
- 鈴木孝昌: "実験医学別冊 原理からよくわかるリアルタイムPCR完全実験ガイド 網羅的な発現をみる マイクロアレイ解析との比較を例に", (株)羊土社, 東京, pp.111-21 (2013)
- 野村祐介, 坂本泰一: "タンパク質結晶の最前線", 第5章 RNAアプタマーの立体構造と創薬, 杉山成監修, (株)シーエムシー出版, 東京, pp.230-7 (2013)
- 迫田秀行: "薬事承認の迅速化に向けた厚生労働省の取り組み", 未来型人工関節を目指して -その歴史から将来展望まで-, 吉川秀樹, 中野貴由, 松岡厚子, 中島義雄編集, (株)日本医学館, 東京, pp.378-81 (2013)
- 澤田留美: "生化学", 第11章 3節ペントースリン酸回路, 第11章 4節クエン酸回路, 第11章 5節電子伝達系と酸化的リン酸化, 大塚讓, 脊山洋右, 藤原葉子, 本田善一郎監修, (株)東京化学同人, 東京, pp.100-14 (2014)
- 中岡竜介: "医療用ポリマーの生体適合性評価", 体内埋め込み医療材料の開発とその理想的な性能・デザインの要件, (株)技術情報協会, 東京, pp.254-8 (2013)
- 新見伸吾: "バイオ医薬品 開発の基礎から次世代医薬品まで", 第19章モノクローナル抗体, 西島正弘, 川崎ナナ編集, (株)化学同人, 京都, pp.161-75 (2013)
- 五十嵐良明: "動物実験代替安全性試験プロトコル集", 第3章 Local Lymph Node Assay (LLNA), 小島肇夫

- 監修, (株)シーエムシー出版, 東京, pp.45-54 (2013)
- 小林憲弘:“伊東毒性病理学”, 5.10ナノマテリアル, 高橋道人・福島昭治 編, 丸善出版(株), 東京, pp.159-61 (2013)
- 伊佐間和郎:“体内埋め込み医療材料の開発とその理想的な性能・デザインの要件”, 第4章 金属系材料・セラミックスの開発とその高機能化, 第3節 金属系材料の細胞毒性の評価, 佐藤章弘企画編集, (株)技術情報協会, 東京, pp.303-7 (2013)
- 内田滋夫, 川本伸一, 濱松潮香, 田上恵子, 田野井慶太郎, 松田りえ子, 吉岡邦雄, 等々力節子, 八戸真弓, 中谷操子, 松岡洋子, 鍋師裕美, 丹治克男, 関澤春仁, 後藤奈美:“環境パラメーター・シリーズ4増補版(2013年)食品の調理・加工による放射性核種の除去率-我が国の放射性セシウムの除去率データを中心に-”, 第2章 2.7 きのご類, 2.8 魚介類, 2.9 肉類, (公財)原子力環境整備促進・資金管理センター, pp.73-8, pp.82-7 (2013)
- 飛山浩:“症例を通して学ぶ食物アレルギーのすべて”, (株)南山堂, 東京, pp.22-5, pp.238-40 (2013)
- Pascoe B, Lappin-Scott H, Sheppard SK, Asakura H:“*Campylobacter* Ecology and Evolution”, Does biofilm formation aid colonization and infection in *Campylobacter*?, eds., Sheppard SK and Meric G. Caister Academic Press, England, pp.177-88 (2014)
- 野田衛:“ノロウイルス食中毒・感染症からまもる-その知識と対策”, (公益)日本食品衛生協会, 東京, pp.1-107 (2013)
- 野田衛, 上間匡:“微生物の簡易迅速検査法”, 第3章・第1節 ウイルス, (株)テクノシステム, 東京, pp.133-41 (2013)
- 野田衛, 福田伸治:“微生物の簡易迅速検査法”, 第10章・第1節 感染症 4. ウイルスの簡易迅速検査法, (株)テクノシステム, 東京, pp.539-48 (2013)
- Okada Y, Asakura H, Igimi S:“*Listeria monocytogenes*. Food sources, prevalence and management strategies”, Prevalence, antimicrobial resistance and growth kinetics of *Listeria monocytogenes* in ready-to-eat (RTE) foods, ed., Hambrick EC., Nova Science Publishers, USA, pp.191-203 (2014)
- 大西貴弘:“微生物の簡易迅速検査法”, 寄生虫性食中毒と検査法, 高鳥浩介編, (株)テクノシステム, 東京, pp.549-54 (2013)
- 大西貴弘:“獣医公衆衛生学 I”, 寄生虫および原虫による食中毒(クドアセプトテンブクタタ・ザルコシステイスフェイヤー), 獣医公衆衛生学教育研修協議会編, 文永堂出版(株), 東京, pp.198-200 (2014)
- 吉成知也:“微生物の簡易迅速検査法”, マイコトキシンの簡易迅速検査法, 高鳥浩介編, (株)テクノシステム, 東京, pp.531-37 (2013)
- 荒川英二, 宮原美知子:“腸炎ビブリオ第IV集”, V-2. 食品・環境からの検出, 編集者名 監修 本田武司, 編集者 篠田純男, 甲斐明美, 山本重雄, 土屋友房, 西淵光昭, 荒川英二, 飯田哲也, (株)近代出版, 東京, pp.197-201 (2013)
- 工藤由起子:“腸炎ビブリオ第IV集”, V-1 1) 分離培養技術の進歩と遺伝子検出法の応用, V-1培養・検出法の進歩, V検出, 同定, タイピング, 本田武司監修, (株)近代出版, 東京, pp.152-165 (2013)
- 工藤由起子:“生食のおいしさとリスク”, 第3章 生食のリスクとは, 第2節 生肉のリスク, 原因菌と食中毒事件, 一色賢司監修, (株)エヌ・ティー・エス, 東京, pp.329-337 (2013)
- 小西良子, 渡辺麻衣子:“カビのはなし-ミクロな隣人のサイエンス”, 第六章 カビによる被害, 6.2.3. 中毒, 高鳥浩介・久米田裕子編, (株)朝倉書店, 東京 (2013)
- 蜂須賀暁子:“実験者/試験検査員の誤ったデータの取扱い・試験誤操作防止策”, 第13章 研究, 試験に関わる規制・ガイドラインの最新トピックと今後の動向, 第6節 放射線を使った実験に関する法規制と試験室管理, (株)技術情報協会, 東京, pp.512-7 (2014)
- Nakamura R, Teshima R:“Plant Proteomics Methods and Protocols Methods in Molecular Biology, 2nd edition”, Humana Press, New York, pp.725-35 (2014)
- 天沼喜美子, 青木良子, 森川馨:“薬剤師に役立つ医療安全管理の考え方~病院・薬局に活かせる新しい取り組み

～”, 第V章4. 向精神薬に関する海外規制機関からの安全性情報, 政田幹夫, 佐藤博, 佐々木均編, (株)医薬ジャーナル社, 東京, pp.188-94 (2013)

登田美桜: “管理栄養士・栄養士のための食品安全・衛生学”, 3.7 自然毒食中毒, 日佐和夫, 仲尾玲子編著, (株)学文社, 東京, pp.64-71 (2014)

畝山智香子: “自治体の風評被害対応～東日本大震災の事例～”, 第6章 風評被害予防のためのリスク情報共有について, (公)日本都市センター, 東京, pp.114-24 (2014)

森田健: “動物実験代替安全性試験プロトコル集”, 第2章 GHSにおける代替法の基準および規制の動向, 小島肇夫 (監修), (株)シーエムシー出版, 東京, pp.11-5 (2013)

鹿庭なほ子: “医薬品の生物学的同等性試験－ガイドライン対応－”, 生物学的同等性の評価, 緒方宏泰編著, (株)じほう, 東京, pp.55-9 (2013)

斎藤嘉朗, 中野泰子: “テラーメイドゲノム創薬”, バイオ医薬品, 西島正弘, 川崎ナナ編, (株)化学同人, 京都, pp.245-52 (2013)

斎藤嘉朗, 前川京子, 鹿庭なほ子: “日本人を対象にした副作用に関するゲノム・メタボローム解析”, 毒性質問箱, 安全性評価研究会編集企画委員会編, (株)サイエンティスト社, 東京, pp.83-96 (2013)

高橋祐次: “動物実験代替安全性試験プロトコル集 (The Protocols for the Alternative Toxicological Testings)”, 第15章 急性毒性試験, 小島肇夫監修, (株)シーエムシー出版, 東京, pp.187-197 (2013)

小島肇: “動物実験代替安全性試験プロトコル集”, 第1章 動物実験代替法の意義と今後, (株)シーエムシー出版, 小島肇夫監修, 東京, pp.3-10 (2013)

小島肇: “機能的化粧品と薬剤デリバリー”, 第2章 安全性1 化粧品の安全性, 杉林堅次, 正木仁, 市橋正光監修, (株)シーエムシー出版, 東京, pp.22-7 (2013)

小島肇: “化粧品・医薬部外品およびその原料の安全性評価と規格・試験法設定”, 第2章 化粧品・医薬部外品に求められる安全性試験とバリデーション, サイエンス&テクノロジー (株), 東京, pp.29-65 (2013)

小島肇: “*In vitro*毒性・動態評価の最前線”, 第1章 動物実験代替法から*in vitro*毒性試験へ, 小島肇夫監修, (株)シーエムシー出版, 東京, pp.1-7 (2013)

小島肇: “経皮吸収性の試験法と評価法”, (株)情報機構, 東京, pp.1-54 (2013)

本間正充: “動物実験代替安全性試験プロトコル集”, ほ乳類細胞を用いた*in vitro*小核試験, 小島肇夫監修, (株)シーエムシー出版, 東京, pp.169-86 (2013)

本間正充: “*in vitro*毒性・動態評価の最前線”, 第4章 変異原性の予測－医薬品中に存在する不純物の評価－, 小島肇夫監修, (株)シーエムシー出版, 東京, pp.36-43 (2013)

小野敦: “動物実験代替安全性試験プロトコル集”, 第18章 BG1Luc細胞を用いるエストロゲン受容体転写活性化試験法, 小島肇夫監修, (株)シーエムシー出版, 東京, pp.228-42 (2013)

小野敦: “*In vitro*毒性・動態評価の最前線”, 第3章 化学物質の内分泌かく乱性の予測評価, 小島肇夫監修, (株)シーエムシー出版, 東京, pp.29-35 (2013)